

社員 311, 商業 158。

3. 加工食品のうち漬物類として、梅漬、らっきょう漬は 50% が家庭で造られ、残 50% は市販品を食している。次に春は高菜漬 21%, たくあん漬 20%, 夏は糠漬 52%, 秋はたくあん漬 18%, 冬は白菜漬 70%, たくあん漬 56% が自宅で漬けられ、その他の家庭は市販品を利用している。その他相当多くの種類の漬物が市販品を購入して食されている。次に昼食に煮豆 42%, ハンバーグ 38%, コロッケ 45%, 天ぷら 34% が市販品を購入して食されている。

インスタント食品については、麺類として特にラーメンが昼食に 49%, 夜食に 51% 用いられ、その他夕食にシチューの素 56%, カレーの素 93%, 朝食にみそ汁の素 31%, 夕食にすまし汁の素 19%, ポタージュの素 17% が用いられている。これらの食品は特に商業、農業の家庭に多く利用されている。

以上のように現在の食生活においては、多くの加工食品やインスタント食品が用いられるような食生活へと変遷してきているが、ここに多くの問題を含んでいると思われる。

A—78 延岡地方における食生活の変遷(第3報)
—加工食品及びインスタント食品の
使用の実態—

緑ヶ丘学園短大 志賀 リツ
○吉田 郁子

1. 第2報において加工食品及びインスタント食品が種類においても、分量においても、非常に多く使用されている状態に変遷してきている事がわかったので、今回はそれらが、実際にどの程度使用されているかを調査するためである。

2. ①調査期間：昭和45年2月, ②調査対象：市内高校生の家庭714世帯, ③職業：農業152, 公務員93, 会